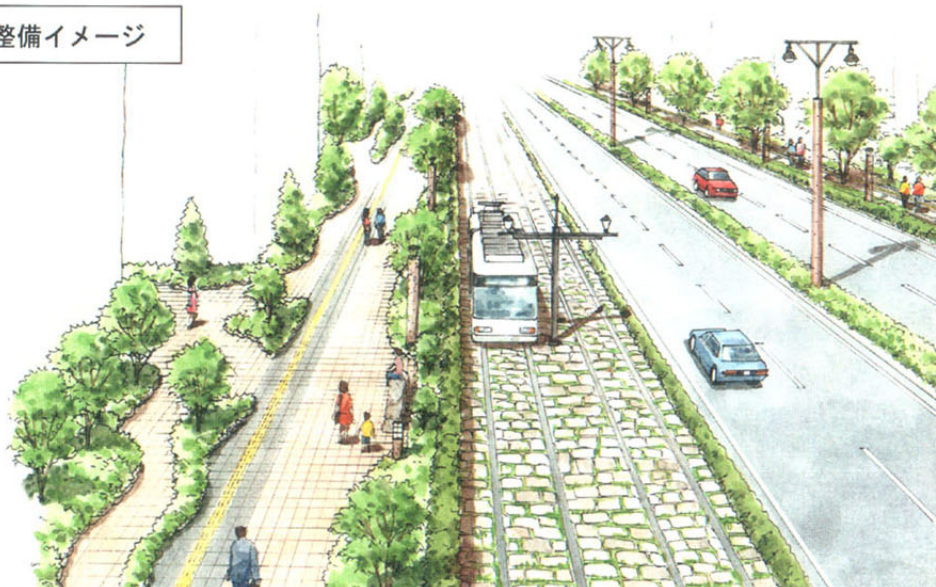


4. 道路空間整備計画

4-2 熊本駅城山線

市電のサイドリザーベーション化により、人と電車、環境空間が共存した“森のみち”空間を提供

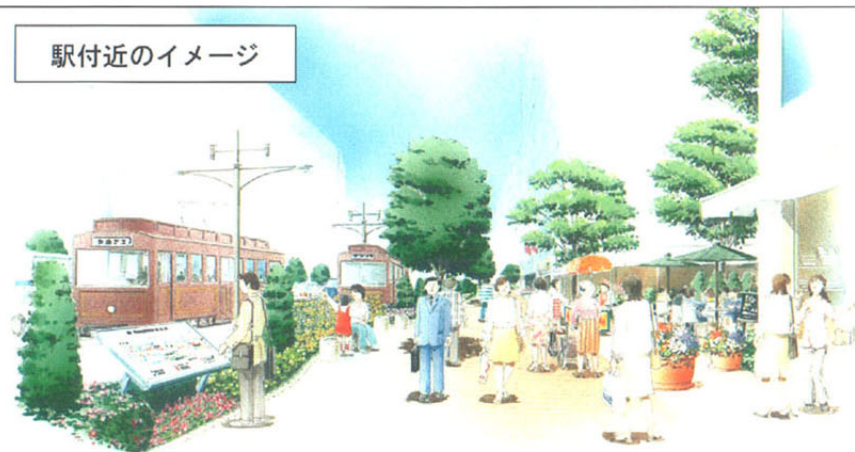
整備イメージ



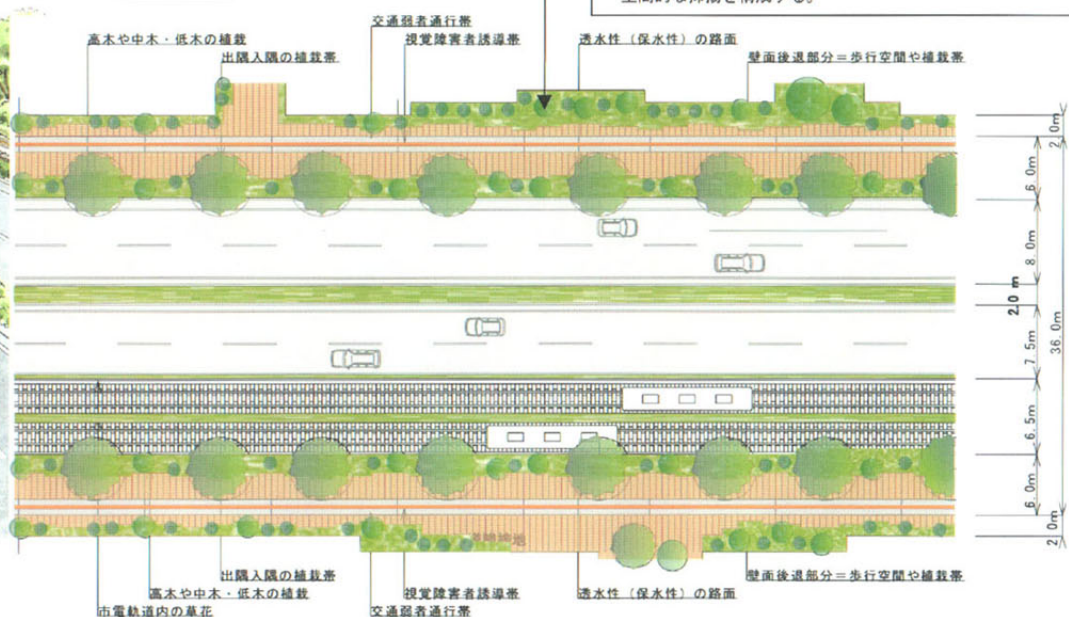
■森のみち空間の整備イメージ

- ・ 枝張りの良い緑被面積の豊かな樹形を持つ街路樹を施し「森の道」を創出
- ・ 通過のための単調な歩道ではなく、視覚的変化のバラエティに富んだ、林の中の園路のような路のデザインとする。
- ・ 歩道の空間構成は、安全安心の空間形成のもと、適切な出隅入隅を構成し、空間的な抑揚を備えたデザインとする。
- ・ 歩道部は森の道にふさわしい暖かみの感じられるデザインとする。
- ・ 照明施設は連続する熊本駅北部線との連続性に配慮し、同一デザインとする。

駅付近のイメージ



平面イメージ



■出隅入隅による平面的な抑揚を備えた園路のような歩道デザイン
 ・ 6.0m歩道と沿道敷地の 2.0m部分が一体となって、味わいのある園路を構成する。
 ・ 歩道植栽帯に凸凹の出隅入隅を構成すると共に、民地内部分の外構や植栽にも出隅入隅を取組むことで、視覚的な変化や空間的な抑揚を構成する。

断面イメージ

